

## 令和八年度入学式式辞

春の新たな息吹を感じる佳き日に、ご来賓の皆様、保護者の皆様の御臨席を賜り、令和八年度東京都立芦花高等学校第二十四回入学式を挙行することができますことは、本校にとりまして、大きな喜びです。ご臨席いただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可しました278名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの本校への入学を心より歓迎いたします。本校は、平成十五に開校し、今年で創立二十四年目を迎えます。

「自主・創造・誠実」を教育目標としながら、しなやかで強い生きる力をもって、社会で活躍する人になって欲しいという思いと共に、日々、教育活動に取り組んでおります。

しかし、今、数年先が予測できない時代です。世界に目を向ければ、各地で様々な対立が起こっており、私たちも多かれ少なかれ影響を受けています。遠い国の話ではありません。身近なところに目を向けても、急激な少子高齢化やグローバル化、AIに代表される科学技術の発展などにより、我が国の社会構造や生活環境が大きく変化しています。これらの変化に対応する力を養うためには、世界中の人々が、それぞれの立場や専門領域を超えて、智慧を出し合って解決の道を探らなければなりません。

そしてその主役となるのは皆さんです。時代の転換点で変化を起こし、新しい社会を構築してきたのは、いつもその時代の若者達です。新しい時代を切り拓き、新しい時代の価値を創造していけるかどうかは、柔軟な見方が出来るか、豊かな心と教養をもった人間としてたくましく生きているか、によるところが大きいのです。

今日から始まる高校三年間は、皆さんが大人になって将来の夢を実現するため、より良い地域づくりや社会づくりに貢献していくための大切な成長期間です。この三年間をどのように過ごすかは、皆さん一人ひとりの人生の基盤づくりに、極めて重要な意味を持ちます。

そのために、今日からこの芦花高校で始まる高校生活で心掛けてもらいたいことについて、二点お話しします。

一つ目は「自分の持つ意志を発展させる」ということです。皆さんは、それぞれの環境の中で周囲の方からのアドバイスを頂きながら、芦花高校へ自分の意志をもって入学した「同志」です。その意志をお互いに大切にしてください。そして多くの人たちと交流を持って前向きにその意志を自分らしく発展させてください。この三年間で、将来自分は何を学びどう生きていくか、どんな活躍ができるかを徹底的に考え、高い志を立てることです。人が創り上げる社会において、自分を最大限生かせる高い志を立ててください。

二つ目は、「たくさんの小さな失敗をする。」ということ。この言葉にはその前後が必ずあります。失敗の前には必ず行動があります。自ら行動を起こすことで達成感を得られることもあります。その達成感行動を起こした結果から生まれるものです。しかし実際はたくさんの失敗が生まれます。ですが、そこで立ち止まったり、あきらめたりしないでください。なぜそうなったのか。どうすればよかったのか。と考えることが失敗の後に続きます。じっくりと改善策を考えたあと、その改善策を行動に移す。次の段階でまた失敗する。皆さんのよりよい未来はこの過程の繰り返しです。より高みへ自分を導く正のスパイラルの上昇気流はこうして作られていきます。上昇気流は上空に行くと雨粒をつくります。雷雨になって荒れることもあります。しかし、自分の持つ意志を発展させる行動の中で起こる失敗の繰り返しは、前向きな空気の流れによる上昇空気を起こし、皆さんを確実に躍進させることでしょう。

芦花高校の校舎は、南北に風が通り抜け、生徒が回遊できるつくりをしています。この三年間、皆さんこの校舎で、よい空気の流れをつくり、自分の上昇気流をつかんでください。

新入生の皆さんは、日々の授業に真剣に取り組む中で、知ることの喜びや、知ることを学ぶ、そこで沸きあがった疑問を大切にしていってください。そして自らの知的好奇心を弾みにして様々なことに積極的に挑戦し、沢山の失敗や貴重な経験を通して、視野を広げていってください。

最大の失敗は、「何もしないこと」です。何もしなければ、自分を成長させることはできません。皆さんは一人ではありません。家族や仲間、先輩、先生方など皆さんを支えてくれる人が沢山います。色々な人の力を借りながら様々なことに挑戦して、この芦花高校での三年間を意義あるものにしてほしいと願っています。

保護者の皆様、この十五年間様々なご心配やご苦労があったかと思えます。

高等学校の三年間は、人生の方向を決定する大切な時期であり、悩み苦しみの多い時期でもあります。私たち教職員は、保護者の皆様がこの芦花高校の教育に共感と期待を込めて、大切なお子様をお預けいただいたことを重く受け止め、お子様方の高い志の確立とその実現に全力で支援して参ります。

お子様方の健全な成長においては、学校と家庭がそれぞれの役割を果たし、相互に補完し合って連携を密にしていくことが重要です。どうか学校の方針をご理解いただき、ご支援とご協力をおねがいたします。

結びに、新入生の皆さんがたくさんの小さな失敗を繰り返しながら自分の持つ意志を発展・成長させ、実りある高校生活を送ることが出来ますことを心から期待して、式辞といたします。

令和八年四月七日  
東京都立芦花高等学校長  
園部 直美

